

柵池エンジョイスキーキャンプ

- 開催日 2017年12月26日～12月29日
- 会場 柵池高原スキー場/農文協柵池センター（長野県小谷村）
- ディレクター名 村中 達哉（むらじ）

■キャンプのねらい

- たっぷり滑り込むことで得られる充足感や満足感を味わう
- 目標をもって取り組み、「これができた！」という実感を次へのステップにつなげる
- 生活もスキーも仲間と思いっきり楽しむ

■同行スタッフ（キャンプネーム）

ばるさん、ぴけ、とっくり、めんこ、ひめちゃん、ゆかっぺ、もも、ぼこ、もっきー、スマーフ、りる、でいーすけ、カイザーらむ、オノディ

■活動内容

<1日目>
集合、柵池高原到着
雪遊び

<2日目>
スキーレッスン①②
グループタイム

<3日目>
スキーレッスン③④
スタンツ大会

<4日目>
スキーレッスン⑤
移動、解散



柵池高原に到着！外は真っ白な大雪の世界。さあ、雪遊びに行こう！



雪遊びの楽しみ方・・・その一！
「投げる」



雪遊びの楽しみ方・・・その二！
「埋める/埋まる」



エンジョイと言えばこれ。恒例の「カードゲーム大会」です。



2日目になりました。さあ、今日からいっぱい滑ろう！



まずは足慣らしからスタートです。昨シーズンの滑りを思い出します。



柵池高原名物「鐘の鳴る丘」での1枚。記念に鐘も鳴らしてきました。



モフモフの新雪で足はだいぶクタクタでしたが、みんな頑張りました！



夜はスタンツ練習。グループごとに部屋に分かれて秘密の練習です。



3日目は、待望の良好なグレンデコンディション。張り切って滑ろう！



3日目はスキー上達を目指す1日。色々な課題を意識して滑走します。



多くの班が、中級斜面にもチャレンジしました。



上級班はこの滑り！どの班も3日目はたくさん滑走できました。



エンジョイ恒例のスタンプ大会。どの発表も、たくさん笑いました！



こちらは、2017年に流行したあのお笑いのネタです。とっても上手！



美味しいご飯は、毎日のパワーの源。さあ、最終日も楽しもう！



最終日は遂に快晴！短い時間でしたが、気持ちよく滑走できました。



次は春！会津エンジョイスキーで会いましょう。

■キャンプのエピソード

同じグレンデだけど・・・

「フカフカすぎて進まない！」

2日目、新雪でフカフカなグレンデコンディションを滑った子どもたちの感想の大多数はこれでした。

「スキー楽しい！」

これは3日目と4日目のスキー後の感想。後半2日間は降雪も納まり、良好なコンディションでの滑走でした。

同じグレンデ、でもまるで違う場所にいるかのような2つの感覚。これはぜひ大切にしてほしい感覚です。スキーは自然の中で楽しむスポーツ。雪の状態は日々変わり、それに合わせて滑れてこそ、本当のスキーヤーなのだと思います。

ちなみに昨年度は雪不足。そう考えると、そもそも贅沢な悩みかもしれません。自然と上手にお付き合いしてスキーを楽しむこと。今回のエンジョイメンバーに覚えていてほしい、大切な感覚です。

「トレイン滑走ではなくて・・・」

「えー、一人ずつ？トレインがイイ！」

そんな声が聞こえたのは、3日目の午後、中級レベルの班でのことでした。

そもそも「トレイン」とは何でしょうか？

「トレイン滑走」とは、スタッフを先頭に列になって滑走するレッスン方法です。そしてもうひとつの方法が、スタッフが待つ位置まで一人ずつ順番に滑走する方法です。

特に後者の滑走方法はかなり緊張するもの。他のメンバーも見守る中一人ずつ滑るので当然かもしれない。前述の言葉も、きっとその緊張から来るものだったのだと思います。

でもこれも上達への道。この言葉を漏らした本人も、緊張を乗り越え、力のこもった滑走を披露してくれました。こんな時に自然と芽生える自信や、次の課題への気づき。エンジョイスキーが大切にしたい瞬間のひとつです。